

資料4

京丹波町地域密着型サービス運営委員会資料

1 地域密着型サービスとは

地域密着型サービスとは、認知症高齢者や独居高齢者等の増加を踏まえ、高齢者が要介護状態になっても、できる限り住み慣れた自宅や地域での生活を継続できるようにする観点から、平成18年4月の介護保険制度の改正により創設されたサービス体系です。

利用者は原則として、本町の被保険者に限定され、サービス事業者の指定や指導監督は本町が行います。

施設などの規模が小さいため、利用者のニーズにきめ細かく応えることができるサービスとなっています。

2 地域密着型サービス事業所の設置状況について

別紙資料のとおり

3 地域密着型サービスの新規指定等について

法人名	社会福祉法人 京丹波町社会福祉協議会
種類	地域密着型通所介護(通所介護からの移行)
名称	社会福祉法人京丹波町社会福祉協議会 デイサービスセンターほほえみ
所在地	京丹波町和田田中6番地1
利用定員	18人
事業開始予定日	令和3年10月1日

2 地域密着型サービス事業所の設置状況について

サービス名	サービス概要	法人名等	事業所名	所在地	指定（更新）年月日	指定有効期限	利用定員
(1) 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	地域密着型介護老人福祉施設とは、特別養護老人ホームのうち入所定員が29人以下の施設です。 地域密着型施設サービス計画に基づき、入浴、排泄、食事等の介護、相談及び援助、社会生活上の便宜の供与、その他日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話を行うものです。	社会福祉法人 山彦会	特別養護老人ホーム金木屋	京丹波町三ノ宮縄手39番地	令和元年7月24日	令和7年7月23日	29名
(2) 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	認知症高齢者が共同生活住居において、家庭的な環境と地域住民との交流のもとで、入浴、排泄、食事等の介護、その他日常生活上の世話及び機能訓練を行うサービスです。	社会福祉法人 山彦会	グループホーム わたしの親元	京丹波町三ノ宮小谷30番地	令和3年2月1日	令和9年1月31日	18名
		社会福祉法人 未生会	ラポール ささゆりの宿	京丹波町本庄宮ノ下2番地	平成27年11月1日	令和3年10月31日	9名
(3) 認知症対応型通所介護	認知症高齢者が、デイサービスセンターなどの施設に通い、食事、入浴、その他の必要な日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより、利用者の社会的孤立感の解消及び心身機能の維持並びに介護者家族の負担軽減を図るものです。	社会福祉法人 山彦会	デイサービス南天	京丹波町橋爪町田105番地ほか	平成28年10月5日	令和4年10月4日	12名
(4) 地域密着型通所介護	利用定員18名以下の小規模のデイサービスセンターなどの施設に通い、食事、入浴、その他の必要な日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより、利用者の心身機能の維持向上と、介護者家族の負担軽減を図るものです。	特定非営利活動法人クローバー・サービス	クローバー・デイサービスセンター	京丹波町橋爪松山41番地1	平成30年6月1日	令和6年5月31日	15名
		社会福祉法人 山彦会	京丹波デイサービス	京丹波町三ノ宮縄手39番地	令和元年7月24日	令和7年7月23日	18名
		特定非営利活動法人まごころサービスあい愛	特定非営利活動法人まごころサービスあい愛	京丹波町角下大田43番地2	令和2年11月1日	令和8年10月31日	15名
		株式会社プラトールケアセンター	デイサービスプラトール	福知山市土師新町2丁目86-2	平成29年11月1日	令和5年10月31日	利用者1名

地域密着型通所介護事業所への移行について

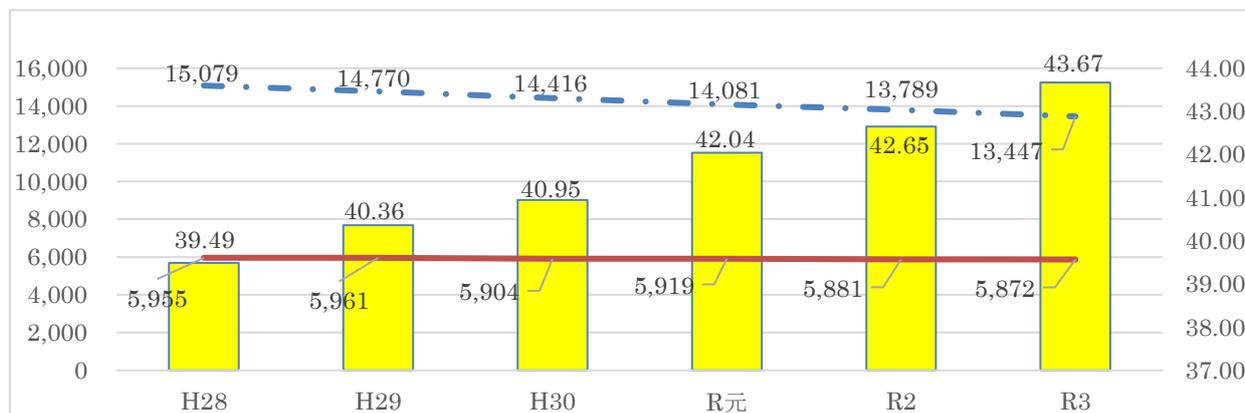
現在、京丹波町社協では通常型（1日定員25名）の通所介護事業所を運営しておりますが、令和3年度中（10月予定）に地域密着型（1日定員18名）の通所介護事業所へ移行を予定しています。

地域密着型とは

今後増加が見込まれる認知症高齢者や中重度の要介護高齢者が、出来る限り住み慣れた地域で生活が継続できるように、市町村から指定を受けた事業所が地域住民に提供するサービスです。

地域の特性を活かし、その地域に添ったサービスを提供するために、市町村が事業者の指定や監督を行います。利用者のニーズにきめ細かく応えることができると期待されており、事業所が所在する市町村に居住する方（京丹波町民）が利用対象者となっています。

①京丹波町人口の変化（過去6年）

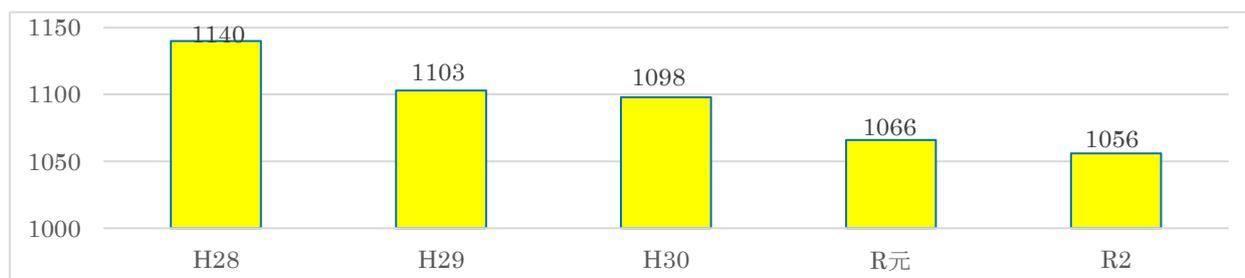


—●— 総人口 (人) — 65歳以上人口 (人) ■ 高齢化率 (%)

- ・京丹波町の総人口は毎年減少している。
- ・65歳以上人口は令和元年の5,919人をピークに、こちらも減少傾向となっている。
- ・今後は、総人口、65歳以上人口ともに減少するが、65歳以上人口減少率より総人口の減少率のほうが大きく、高齢化率は増加見込みである。

②京丹波町要支援・要介護認定者数の推移（各9月末）

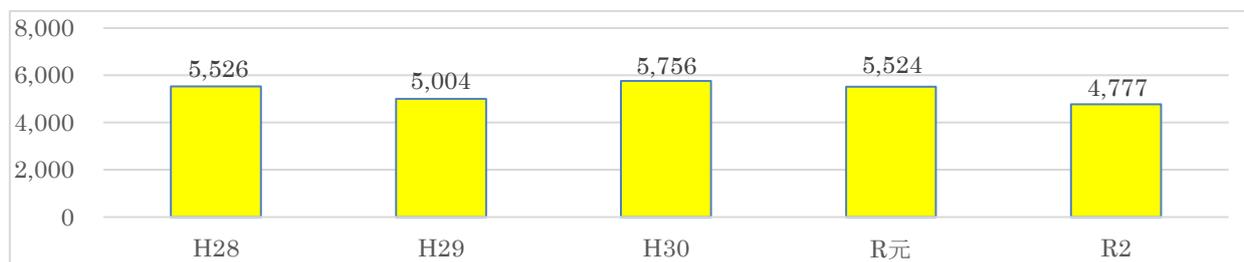
単位：人



- ・高齢化率は増加傾向にあるが、京丹波町の要支援・要介護認定者数は減少傾向にある。

③社協通所介護事業所の年間延べ提供回数（過去5年）

単位：回数



- ・平成30年から減少傾向にある。

経過説明

人口減少が進み、高齢化率も上昇している。ただし、高齢化率は上昇しているものの、介護認定者数は年々減少しており、今後高齢者全体の数も減少する見込みである。これは、本会の通所介護事業所がある瑞穂地区でも同じ状況であり、すでに通所介護事業所の利用率は低下してきている。

また、人口減少は介護職員の人材不足にも影響を及ぼしており、募集を行っても応募が無い状況が続く、事業規模に応じた人員配置が難しい現状がある。

このような状況から、通常型の通所介護事業所の継続が難しいと判断し、地域密着型の通所介護事業所への移行を決定する。

メリット

- ・定員が25名から18名と減少することで、きめ細やかなサービスの提供ができるとともに、職員の配置人数も抑えられる。
- ・介護報酬が通常型に比べ増額となり運営が改善できる。

デメリット

- ・介護報酬が増額する分、利用者からいただく個人負担料も増額となる。